

歴代宝案編集参考資料 24

琉球王国の外交文書—よみがえる『歴代宝案』

『歴代宝案』訳注本全 15 冊刊行記念シンポジウム報告集

## 目次

### 目次

シンポジウム開催にあたって 沖縄県教育委員会 教育長 半嶺 満  
凡例

### 第一部

基調講演 歴代宝案から考えるグローバルヒストリー

—東アジア海域論の再構成— 濱下 武志 …………… 3

第二部 パネルディスカッション …………… 23

コーディネーター：渡辺美季

パネリスト：赤嶺守・金城正篤・田名真之・西里喜行・濱下武志

### 参考資料

①シンポジウム参考資料 …………… 63

②シンポジウム関連新聞記事 …………… 75

## シンポジウム開催にあたって

『歴代宝案』訳注本全 15 冊刊行記念シンポジウムの開催にあたり、ご挨拶を申し上げます。

沖縄県は、琉球王国の時代、中国や朝鮮、東南アジアの国々との交易を通して独自の歴史・文化を育んできました。先人たちは、この交流の記録を後世に残すため、外交文書集『歴代宝案』を編纂しました。しかし残念ながら、その原本は沖縄戦などで失われました。

この沖縄の歴史・文化の源流につながる歴史資料を、再び県民の手に取り戻すため、平成元年度、沖縄県は『歴代宝案』編集事業をスタートさせました。これまでに原文を復元した「校訂本」全 15 冊が平成 28 年までに刊行され、それを読み下し注釈をつけた「訳注本」全 15 冊が今年の 3 月までにそろいました。

長年にわたる編集事業において、訳注を担当された先生方をはじめ、歴代宝案編集委員の先生方や協力者の方々、また『歴代宝案』の写本や関連資料などを所蔵する国内外の関係機関の皆様方に大変お世話になりました。この場を借りてお礼申し上げます。

本日は、『歴代宝案』編集事業の成果を改めて県民の皆さまと共有し、本シンポジウムが、先人たちが歩んできた歴史を未来へつなげるための機会となることを期待しております。

今後はこの貴重な琉球王国の歴史遺産を後世に継承するための普及事業として、概説本や辞典・索引の編集刊行、さらにはデジタル化による発信に努めてまいります。

結びに、本シンポジウムの成功を祈念するとともに、御来場の皆様のますますの発展と御健勝を心から祈念しまして、挨拶といたします。

令和 4 年 12 月 3 日

沖縄県教育委員会 教育長 半嶺 満

## 〔凡 例〕

- 1、本報告集は2022年12月3日（土曜日）14：00～17：00、沖縄県立博物館・美術館3階講堂で行われた『歴代宝案』訳注本全15冊刊行記念シンポジウム「琉球王国の外交文書—よみがえる『歴代宝案』」の基調講演、パネルディスカッションをまとめたものである。またシンポジウム当日に配布された参考資料と関連新聞記事を巻末に掲載した。
  - 2、基調講演の掲載にあたっては、一部内容を加筆・修正した。また小見出し、注記など編集上の工夫を加えた。
  - 3、パネルディスカッションの掲載にあたっては、各発言の主旨を残しつつ、です・ます調に改めるとともに、重複が見られた箇所の削除および文意を明確にするために語句の挿入（ ）、注記などを適宜行った。
- ※ 本シンポジウムは新型コロナウイルス感染症対策により入場者数を制限せざるを得なかったが、124名の来場者があった。シンポジウム開催にあたり、協催の沖縄県立博物館・美術館、歴代宝案編集委員の先生をはじめ、関係機関、関係者に改めて感謝申し上げます。なお、本シンポジウムの基調講演については、沖縄県教育委員会が運営する生涯学習情報サイト「まなびネットおきなわ」で映像が公開された。

歴代宝案編集参考資料 24  
琉球王国の外交文書一よみがえる『歴代宝案』  
『歴代宝案』訳注本全 15 冊刊行記念シンポジウム報告集

---

2023 年 11 月 13 日発行

編 集 沖縄県教育庁文化財課 史料編集班  
〒 901 - 1105 沖縄県南風原町新川 148 - 3  
Tel 098 - 888 - 3939

発 行 沖縄県教育委員会

印 刷 株式会社 アント出版  
〒 903 - 0804 沖縄県那覇市首里石嶺町 4 丁目 291 - 1  
Tel 098 - 840 - 3777

---